



第486回 8/5 (火)

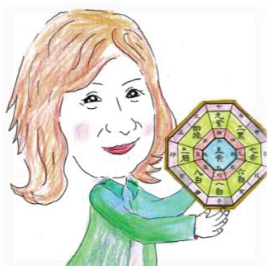
「九星気学会」

出演 恭鳳(きょうほう)さん

「九星気学」を単に「占い」と思われ易いですが、老子など古代中国思想が道家とか哲学に影響を与え続けてきた学問で、全ての事を九つに分けることができると考えます。それは生き物も人の感情も物象全てを九つに分けて、それぞれに気が宿っていると考えなのです。

恭鳳さんはタイでとんでもない体験をし、このようなことには何か法則があるのではと考え、「九星気学」を学んでみようと思ったそうです。勉強を続け相模原や大和のカルチャースクールでの講師や鑑定をしてきました。色々な方の人生に関わりつつ、地域に根ざして活動をと思い、今は中央林間でサロンを開いています。

AIが進化していますが、人の気持ちというのは変わりません。元気の気、活気の気、その気の流れというのは、人々のパワーになるものです。その気を皆さんにより良く活用してもらえ会にしたいと、市民活動センターにも登録しました。ぜひ、学びに来ていただけたらと話しました。



☆9月の出演 第488回 9/2 日本ケアトランポリン普及協会

第489回 9/16 大和南京玉すだれ&ジャグリングクラブ

FMやまと 77.7MHz 第1.3.5(火) 放送 9:00~9:30 同日再放送 15:00~15:30

TSUBASA's トーク

第47回「イギリス&スペイン旅行(ロンドン編)」

今年は特に、休みボケから抜け出せない。仕事中にパソコンに向き合っている時も、食べたい料理を考えていたし、紙の資料に目を通していても、眠気に襲われて、静かな職場で紙をグシャッと鳴らしたこともあった。日頃からマジメに仕事をして自分助けられたと思った。



8月の連休に、イギリスとスペインを訪れた。10日間の休みのうち、初日は移動、4日間ずつを各国で過ごし、最終日の移動の次の日から働くというハードなスケジュールを、3か月前から計画した。というのも、現地に友人が留学中で、行ったことのないヨーロッパの生活を体験するチャンスだったのだ。

長い休みを大胆に過ごすとして、まずはイギリスに向かった。成田からおおよそ20時間の移動で、ロンドンのヒースロー空港に夕食どきに到着した。宿泊のため、中心部方面の地下鉄に乗り、地方のJRの車両にあるような、向き合わせの4人席に1人で座った。僕は窮屈な座席の奥で、20時間の疲れを感じながら、緊張していた。途中の駅で残りの3人の席に、現地の20代くらいの男1人、女2人が座ってきたのだ。男女とも身長は180cm前後で、髪の色は地毛で明るく、特に正面に座った女2人のほうは、鼻にもピアスを開けて派手目な感じだ。4人席は一気に狭くなり、3人は容赦なく大きな声で会話をしている。工学系の話が別の席から聞こえたので、現地の学生たちのようだ。彼らは僕が隣にいないようにお喋りするし、誰かとビデオ通話しているし、ほかの席ではお酒を手に持って顔を赤くしている学生もいた。彼らを僕が見ていたように、彼らも僕の大きなリュックをちらちらと見ている。



警戒していたが、目的の駅で降りようすると、席を立てて道を開けてくれた。駅を歩きながら、ここでは人同士の距離感から体格、言語、鉄道の乗り方まで何もかも違うと思った。アジア人も、大荷物を持った人も少数派だ。翌日以降はロンドンの中心部の観光地・公園・教会を見てまわった。イギリスの、世界中から人が集まっている多様さ、お互いの違いを認め合えるような雰囲気は心地よかった。



中心部の通りの一画一画は一つの建物になっている感じで、レストランやホテル、スーパーは建物の中で隣接している。そして街のいたるところに代々木公園くらいの広さの公園があるのが印象的だった。公園では色々な犬が僕に近づいてきた。友人によると、ロンドンではリードを使わないで犬を散歩させるのが普通らしく、お店や鉄道などDog freeのところも多い。

クリスチャンの割合も日本より多いようで、友人と行ってみた教会の日曜礼拝では、全く違う国々の人たちと、賑やかに讃美歌を歌ったりお互いの話をしたりして、同じ時間を楽しむことができた。

ヨーロッパ自体、はるか遠くの国々の印象だったが、神奈川から24時間あれば行ける現実の国々で、9時間くらい時間はズレるけど、向こうのスタイルで公園や教会で休日を過ごす人たちがいたり、大学で勉強している学生もいたりするんだ、とはびっくりした。旅行からひと月近くたった今でも、整理しきれないくらい、色々な体験をしている。(バルセロナ編につづく。サポーター 尾畑翼)



大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第218号 発行日：2025年9月10日

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>

<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3月曜日>

〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788

e-mail:yamato@ar.wakwak.com

http://www.kyodounokiyoten.com/

—4—

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第218号 2025年9月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

9月号
2025

ペテルギウス玄関
9月9日の生け花



第17回 全体テーマ 守りたい、平和な世界

(株)永屋賞 受賞

モンサレ ジオン ドミニク ブラワンさん 草柳小学校 (当時)3年 (フィリピン)

タイトル 「みんな なかよく!」

メッセージ 世界中の人たちが、いつかてをつなぎながら 笑いあえるくらい なかよくなることをねがって描きました。

表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催<やまと国際アートフェスタ>の入賞作品を毎号掲載しています

☆「やまと国際アートフェスタ」は、「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) *の主催で毎年開催されています

☆「IFC」は、草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち大和」を考えるボランティアグループです

市民交流カフェ特別編

参加者募集!

みんなでライブペインティング 大きな絵を描こう

日時:10月4日(土) 15時~16時30分

場所:市民活動拠点ペテルギウス1階交流スペース

参加費無料

募集 15名~30名(先着順)

締切 9月30日(火)



第113回 共育(ともい)くセミナー

日時 2025年10月25日(土) 14~16時

場所 ペテルギウス 大和市民活動センター会議室2

障がいを持つ方に、安心して楽しく働く喜びを得るだけでなく 知識や能力の向上なども目指されている パン工房 「麦の香り」



ゲストスピーカー

山崎 美保 さん (副理事長)

五十嵐 一美 さん (施設長)

特定非営利活動法人たんぽぽ

障がい者自立支援たんぽぽ事業所

パン工房 麦の香り





夏のボランティア体験

このゆびとまれっ！

“酷暑の夏”でした…でも貴重な体験でしたね！

猛暑の中 お疲れ様でした。

昨年を上回るような暑い夏に熱い想いを抱えて「このゆびとまれっ！」に参加してくれた中高生とボランティアの参加を快く受け入れてくださった各団体さまに心から感謝を申し上げます。

今年度は「乳幼児の保育サロンのお手伝い、こども食堂のお手伝い、視覚が不自由な方の団体の卓球練習のお手伝い、高齢者施設でのお手伝い、発達に課題を持つお子さまの学童保育のお手伝い」と多様なプログラムを用意することができました。

2025 年夏、暑さと共に熱い想いが記憶に残る夏になりました。
担当 辺見



思いやりと優しさの素敵な体験！

子育て支援、高齢者のディサービス、障がいを持つ方の支援など、参加をされた、中・高生みなさんは、どれも貴重で素敵な体験になったと思います。

また、今年は戦後80年になります。市民活動センターでは、平和の大切さをテーマとした「共育セミナー」を開催させていただきました。

私は、平和には思いやりと優しさを持って、相手の考えや立場を理解することが大切だと考えます。

今回、中・高生の若いみなさんが、思いやりと優しさをもって活動している様々な人と出会い、その活動を体験したことは、これからの学生生活や将来のためだけでなく、平和の大切さを考えることにもつながったと思います。担当 白井



新たに ひろがる出会い

私は今回はじめてボランティア活動に参加しました。ボランティア活動に参加したことで、得られることが多くありました。まず、出会いです。私は、特定非営利活動法人ワンピースさんとサウンドテーブルテニスクラブさんの活動に参加させていただきました。ワンピースさんでは、知的障がいのある子どもたちとふれあいました。サウンドテーブルテニスクラブさんでは、視界が不自由な方とサウンドテーブルテニスを行いました。ボランティア活動を通してさまざまな人と出会うことができました。また、それと同時に多くの学びを得ることができました。ボランティア活動は自分の知らない世界を知るきっかけになります。自分にとっての新しい世界を知ることで、新しい考え方ができたり、新しい知識をつけることができ、自分の成長につながります。ボランティア活動は、「出会い」「学び」「成長」を得ることができます。また、得ることだけでなく、与えることもできます。ボランティア活動を行うことで、誰かのちからになることができます。今回ボランティア活動に参加し、改めてボランティア活動は素晴らしいものだと思います。

つながり推進課 松井



サウンドテーブルテニスクラブ

視覚障がいを持つ方が、障がいのある仲間やボランティアのみなさんと、サウンドテーブルテニスを通じて、親睦を深めることを目的とした活動を行っています。視覚障がい者卓球の普及に努めると共に、ゲームを楽しみながら、各種大会への出場を目標にがんばっております。

目を閉じていると音だけが頼りになるため、集中力が必要であり、初めての私にとっては、どこに転がってくるのか予想できなく、非常に難しい競技だと知ることができました。誘導をお手伝いしたりボール拾いをしたり、参加者の皆さんと交流することができ、貴重な体験になりました。

つながり推進課 河口

ディサービス 愛の家 大和高座渋谷

高齢者のみなさんが、自分らしく生活するための総合支援を行っています。認知症専門のグループホーム/ 社会環境づくり/ 認知症教育の事前授業/ 生活環境・医療と介護の連携など。

女子中学生と男子高校生の2名と一緒に、ディサービスのみなさんのおやつ作りや、お誕生日会に参加させていただきました。ディサービスのみなさんと、おやつを食べながら、おしゃべりをしたり、“ハッピーバースデー”を歌ってお祝いするなど、温かくて、優しい素敵な体験をすることができました。また高校生が披露した詩吟は大好評でした！ 白井



たまめし食堂：質素であっても心を込めて作った食事の提供を通して、お腹も心も温まる、心地よい居場所をつくりたいという想いで“たまには みんなで飯でも食べよう！” たまめし “♪

一般社団法人こども食堂プロジェクト at やまと(北ランチ)

こども食堂“たまめし食堂 北ランチ”運営活動。食数：160 食程度 毎月第4日曜日 お弁当の受取、配達など

お弁当担当は 140 食を越えるお弁当の調理からお弁当詰め～配送の準備まで、支援物資の仕分け担当は炎天下の中で、どちらもスタッフの方々の丁寧なご指導のもと、参加させていただきました。初めは慣れない作業に戸惑うこともありましたが、全ての工程を終える頃にはみなさんとびきりの笑顔を見せてくれました。

辺見



NPO 法人 サポートハウス ワン・ピース

発達に課題を持つ子どもたちが学校が終わってから来所する放課後等デイサービス事業所です。“子どもたちに楽しくくつろげる場を”“保護者にほっとできる時間を”提供しています。

ひとりひとりみんな違うと理解はしていても、不安なものです。理事長の滝本さんは初めに自閉症、発達障がいを持つ子どもとの接し方をレクチャーしてくださいました。それでも、高校生のどうやって接したらよいか戸惑っているのがよく分かりました。一緒に遊ぶことで、感じていた壁や偏見がなくなったとの感想が寄せられました。

関根

ディサービス ハッピー鶴間

利用者のみなさんが、自立した日常生活を営み、利用者のご家族の負担を軽減することを目標とした事業を行っています。また利用者のご家族に対して、介護方法の指導実施、地域や医療・福祉サービス連携などの支援に取り組んでいます。

アットホームな和やかな雰囲気の中“五目並べ”や“トランプ”などで賑わっていました。初めての「ハンドケア」も物珍しさと癒された気持ちになると人気でした。お別れの時、ディサービスの人達から「ありがとう♪」「また来てね！」と言われながらニコニコ挨拶をして帰る生徒達が印象的でした。佐々木



一般社団法人こども食堂プロジェクト at やまと(南ランチ)

こども食堂 “たまめし食堂 南ランチ” 運営活動。毎月第3日曜日 いろいろな生きづらさを抱えた子ども達に、身近な大人として 子どもたちの頼れる存在になる事を目的として活動されています。

猛暑の玄関前から 涼しい部屋に通されて間もなく 次々と私たち以外の一般ボランティア（銀行員や会社員など）の方達がみえました。活動説明と的確な分担指示がされました。清潔感と笑顔に包まれた活動場所でした。活動に仲間入りしてから テキパキと作業をして行く自立した高校生を頼もしく思い、私自身は安心して 早々と担当者に挨拶をして戻って来ました。

望月

8 月の展示コーナー

サークル「ありんこ」



市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます。申込み方法については市民活動センターまでお問い合わせ下さい。

感想・応援メッセージ

- ★いつかやってみたいことが、たくさん ありました 1ねんせい
- ★とても楽しそうで、いつかやってみたいと思いました！❤
- ★こんなにすてきな催し物や行事を たくさんしてくれているんだ～❤ ありがとう
- ★キャンプファイヤー行きたい！

子育てほっとサロン「大和たんぽぽの会」

子育て中の多忙な保護者が、安心して「ホッと」できる 子育てほっとサロン “たんぽぽ”を開催 親子がゆったりくつろげる場の提供/育児相談/子ども同士の交流/じいじ・ばあばも OK

「ほっとサロン」の名の通り 子ども・お母さん同士 そして 次々と集まってくる人達が手をつないで輪になっていく 感じを受けました。卒にはまらない、各自 子ども達の想像力を引き出して育てていく…そんな自由な空間を感じました。泣いてお母さんから離れない子が 時間が経って生徒を 追いかけて出した時は思わず拍手が沸きました。

望月



参加者全員の感想文を乗せて 冊子「夏の思い出」を発行します。